

## 北上地区

### ゆつまでもお元気で!

9月9日(日)、北上中学校体育館を会場に、北上地区の敬老会が開催されました。この日は、北上町の76歳以上の男性218人、女性409人合わせて627人が招待されました。

式典では、当日出席された最高齢者の女川要雪の佐々木正一さんと武山フンさんに三浦助役から花束が贈呈されました。

式典後のアトラクションの部では、北上文化協会の皆さんによる唄や踊りなどが披露され、十三浜甚句の踊りが出ると招待者が飛び入り参加して、楽しい時間を過ごしてこまいった。



## 牡鹿地区

### 目指せ サッパー1

## ☆ 陸上



9月5日(火)、石巻市立鮎川小学校を会場にして、第10回牡鹿地区小学校陸上競技大会(実行委員会主催)が開催されました。

牡鹿地区の各小学校から4年生以上の児童が参加し、100メートル走、800メートル走、1,000メートル走、4×100メートルリレー、走り幅跳びの5種目の競技で熱戦が繰り広げられました。

会場には、多くの保護者や地域の皆さんが応援に詰め掛け、子ども達に大きな声援を送っていました。

## ☆ ソフトボール



8月27日(日)、今年で第5回目となる東北電力杯争奪牡鹿地区ソフトボール大会(石巻市牡鹿稲井商工会主催)が開催されました。

職場の仲間や地域の友人同士で構成した8チームが、甲子園の熱戦にも負けず、手に汗握る死闘を展開し、大会を盛り上げました。

巻区  
石地

# 川開き祭りを写し撮る

8月26日(土)、JR石巻駅前のロマン海遊21を会場に、川開き祭りの風物詩ともなった写真コンクールの表彰式が行われました。

作品の応募数は、川開き祭りの開催日が8年ぶりに8月1日(火)、2日(水)に戻り平日に行われたことや花火大会が悪条件

の中行われたことなどが影響してか、昨年よりも若干少なめでしたが、作品の質は例年に負けず劣らず、どの作品も審査員を唖らせる素晴らしいものばかりでした。

特に、各部門の最優秀賞受賞作品は、各審査員から「今までにないカメラマン

グル」、「仕上がりがとてもきれい」などの評価を受け、応募総数204作品の中から、花火・陸上・水上の三部門で、最優秀賞3点、優秀賞6点、入選・チャレンジ賞など35点が、見事栄冠を勝ち取りました。入賞作品は、表彰式当日から9月3日(日)までさくら野石巻店に展示され、訪れた人たちは、作品を鑑賞しながらそれぞれの川開き祭りを振り返っていました。



花火の部 最優秀賞「夜空に咲く華」伏見養三



陸上の部 最優秀賞「鼓笛隊」神山日出夫



水上の部 優秀賞「力漕」松本典彦



水上の部 最優秀賞「灯籠流しと神橋」岡本栄司



陸上の部 がんばったで賞「がんばってー」高橋松夫

## 鯨の食文化を 考える

9月3日(日)、市民や水産関係者など40人が参加して、石巻グランドホテルでクジラ食文化を守る会主催の「鯨と食文化を語る市民の集い」が行われました。

鮎川で近代捕鯨が始まって100年を迎えることから、「捕鯨100年祭」として昨年の牡鹿鯨まつりから始まり、鯨に関するさまざまな催しが実施され、今回が最終イベントとして鯨の食文化を語り合おうと開催されました。

カナタ出身の宮城大学助教授のあん・まくとなるごさんが、「漁村・農村から見た日本の誇り再発見」を演題に基調講演を行いました。その後のパネルディスカッションでは、TBSアナウンサーの吉川美代子さんや市長などがパネリストとなり、鯨食の普及などについて熱く語っていました。

参加者からは、「子ども達にもっと鯨肉を食べさせてやりたい」、「海は日本の食料庫」など意見が出され、鯨の食文化を深く考える一日になりました。

